

はま風



2月号 令和6年2月22日発行

切不好
磋撓学
琢不屈愛
磨屈知

校訓

主体性を育む

市来中学校 校長 五反田晴夫

市来中学校では、目指す生徒像のひとつに「主体性を育む」を掲げ、授業や様々な活動を通してその実現を図っています。なお、主体性がある状態とは

- ①自己表現（自分の考えを主張できる）
- ②積極的な行動（失敗を恐れないチャレンジ意欲がある）
- ③自己決定力（他人の言うことをそのまま鵜呑みにしない）とされています。

しかしながら、内閣府による国際比較調査によると、日本の子どもたち・若者の主体性は他の先進国等とも比べても低く、「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」「うまくいかないことにも意欲的に取り組む」、「決断力、意思力を誇りに持っている」のすべての項目において、調査対象の7カ国中最下位です。

本校においても先日の鹿児島学習定着度調査の質問紙において、1・2年生とも挑戦や粘り強さの面では県平均より低い傾向が見られました。

これからの時代は、変化の激しい「予測困難な時代」とされています。持続可能な社会の構築には、主体的に課題を発見し解決していく能力が一層求められます。

そこで、授業においてはICTを効果的に活用し、子ども主体の授業改善を図るとともに、子ども主体の行事や学級活動や生徒会活動を進め、自己表現、積極的な行動、自己決定力の向上を図り、主体性の育成を図っていきたく考えています。

昨年夏の甲子園大会で優勝した、慶応高校野球部 森林 貴彦 監督のインタビューを紹介します。（東洋経済 ONLINEより）

私が指導するにあたって、もっとも心がけているのは、選手の主体性を伸ばすことです。プロとして野球を続けられる選手はごくわずかですし、仮にプロ野球選手になれても、いつかは現役を引退しなければならず、監督や評論家になれるのはほんのひと握り。つまり、野球から離れたときにきちんと勝負できる人間になっていることが大事なのです。

社会で活躍できる人の共通点として挙げられるのは、自分を客観視できること。自分なりのアイデアを持ち、自分自身の強みを知り、それを伸ばす努力ができる人は、社会に出てどんな仕事に就こうとも通用します・・・。

2月から生徒会主体で昼休みの体育館開放が始まりました。生徒会本部と保体部が中心となり、楽しい学校づくりを目標に「自分たちでルールを決め、自分たちで守っていく」という合意形成と意思決定を基盤としたものとなっています。

前に述べた質問紙で「自分にはよいところがある」「先生はあなたどのよいところをみとめていますか」等は、県平均よりも高い傾向にありました。今後も、積極的に主体性を発揮してほしいものです。応援していきます。

3月の主な学校行事予定

5日（火）公立高校一般入試（国理英） 2年クラスマッチ	9日（土）3年クラスマッチ
6日（水）公立高校一般入試（社数面） 1年クラスマッチ	11日（月）卒業式予行
8日（金）3年同窓会入会式	12日（火）第77回卒業式
	13日（水）公立高校合格者発表
	25日（月）修了式・辞任式



◎ 市来中学校の最新情報は、

ホームページ

<http://www12.synapse.ne.jp/ichikit/>



系統的・継続的な進路学習

市来中学校では、3年間をとおした系統的・継続的な進路学習に取り組んでいます。この時期、1年生は「職業調べ」、2年生は「高校調べ」、3年生は入試、対策としての「面接練習」と発達段階に応じた学習をしています。先日、1・2年生では調べたことをまとめ、タブレットを活用しての発表会がありました。今後とも、学校の教育活動全体をとおして、生徒一人一人の能力や適性を見出し、生徒が自主的に進路を選び、達成する能力や態度の育成を図って参ります。

○ 2年高校調べ

3人グループで、1つの高校についてタブレットを活用して調べ、スライドにまとめて発表を行いました。全部で16の高校を紹介され、様々な分野の高校の進路選択の視野を広げることができました。



○ 1年職業調べ

様々な職業について、その職業の大きさや変革など、様々な職業に必要な資格など、様々な項目について調べ、資料をまとめた上で発表を行いました。発表の機会をもち、職業について考える時間を設け、具体的な職業について知る良い機会となりました。



○ 3年面接練習

公立高校入試に向けて、面接練習を行いました。面接の質問項目など、面接の雰囲気や立ち振る舞いなど、確認し、実践のなかで、面接の練習が大切であることを実感しました。



血液講話

3年生では学校薬剤師の先生を講師に迎え、血液講話を実施しました。「血液・献血」についてのお話を頂きました。講話後の生徒からは、「血液の必要性や人の善意について考える良い機会となりました。」という感想が出ていました。



鹿児島学習定着度調査

1月に実施された鹿児島学習定着度調査の結果が出ました。1年生では社会、2年生では国語、数学、理科、英語が県の平均を上回っていました。通過率の低かった分野については、今後取組に力を入れていきたいと思っております。

鹿児島学習定着度調査 平均通過率

(2月2日最終結果)

科目	学年	学校	市	地区	県
		国語	1年	74.1	74.4
国語	2年	65.8	62.9	65.8	65.6
社会	1年	57.9	50.5	51.0	54.4
	2年	61.5	53.8	61.1	62.4
数学	1年	72.6	72.2	73.2	74.3
	2年	71.7	66.2	69.4	68.8
理科	1年	63.9	66.0	65.3	66.3
	2年	67.4	67.4	69.6	66.9
英語	1年	76.3	81.5	78.0	77.0
	2年	75.7	72.7	71.9	71.3

市生涯学習推進大会出演

2月4日に市生涯学習推進大会が市民文化センターで開催され、本校の吹奏楽部がオープニング演奏として出演しました。4曲披露した後、会場の方から吹奏楽部に入部したい動機などについての質問もあり、全員が答える場面もありました。

